3-2)　緑園学園防災拠点の通信機手段一覧

2022.6.25 五木田

緑園学園・本部
【情報共有が命を救う】
情 報

1. デジタル簡易無線
- 『いっとき避難場所＆地区内』～『本部』間の連絡用
- 避難の際に緑園内被災情報収集と連絡
- 防犯パトロール、イベントで活用する
- キャリヤセンス機能で使えない場合がある
- 資格が不要（誰でも利用可能）

横浜市、その他

泉区役所

2. デジタル移動無線
- 避難所開設連絡に使用
- 『地域防災拠点』と『区役所』間の連絡用
- CHが少ない

3. アマチュア無線
- 横浜市は組織化されている
- 発災時に有効
- アンテナ、ポール、ケーブルの保管は保管庫
- 無線機とバッテリーを持参する
- 緑園地区は4名で運用

NTT公衆通信
回線網

4. 特設公衆電話
- 通信制限が無い
- 安否確認用
- 発災時の回線復旧には時間が掛かる
- 発信のみ、受信は不可
- 通話は1分以内を推奨

5. 特定小電力無線
- 緑園学園構内の連絡用として有効
- 10台利用可能
- 資格が不要（誰でも利用可能）

6. 携帯電話
- 通信制限が掛かる
- 発災時にSNSは有効
- 災害の規模により不通になる
- 充電が必要

携帯電話
各社通信網

7. インターネット
- 回線は寸断される可能性が有る
- 停電の際は殆ど使用不可

インターネット
通信網

8. ラジオ
- 発災時の情報収集に有効
- 携帯性が良い
- 乾電池で長時間動作
- 常時寝室に準備するとよい

9. テレビ
- 発災時の情報収集に有効
- 停電時は殆ど使用不可